

esp/
peua

FUKUOKA ART MUSEUM 福岡市美術館

esplanade [エスプラナード]
APRIL 2025 | NO.219

esplanade

［エスプラナード］

APRIL 2025 ｜ NO.219

contents

03　所蔵品紹介
04　なぜいま「博物館浴」が注目されるのか
06　素敵を探しに、ミュージアムショップへ！
08　新規ボランティア研修レポート
10　美術館スケジュール（4〜6月）



市長賞：牛島智子《家婦》2020年

第3回福岡アートアワードの受賞作家・作品決定！

福岡市内で活動を行い、今後さらなる飛躍が期待できるアーティストを対象に、作品の買い上げをもって贈賞する「福岡アートアワード」。その３回目の受賞作家と作品が決定しました。62名の応募者の中から市長賞に牛島智子（ともこ）氏、優秀賞にオーギカナエ氏、SECOND PLANET（セカンド プラネット）、興梠優護（こおろぎ ゆうご）氏が選ばれました。４名とも福岡を拠点に活躍している作家たちです。受賞作家の方々の作品は、近現代美術室Ｂにて開催中の「第３回福岡アートアワード受賞作品展」（〜6月1日まで）で展示中です。ぜひご高覧ください。

所蔵品紹介

紅型（びんがた）衣裳（いしょう）　黄地（きじ）横雲（よこぐも）枝垂（しだれ）桜流（ざくらりゅう）水菖蒲（すいしょうぶ）文（もん）



肩口から垂下するシダレザクラ、裾口から上にはカモが泳ぐ水の流れ、そして天に向かって伸びるショウブ（あるいはアヤメでしょうか）が瑞々しく咲いています。春夏の花を主模様にデザインされた、見るも華やかな広袖の衣裳です。

「紅型（びんがた）」とは、沖縄諸島を中心とする領域に15〜19世紀に存在した琉球王国に生まれた染め物の呼称。「紅」は多彩な色、「型」は型紙による模様染めを意味するとされ、濃艶な色調と華麗な模様を特徴とします。王家一門や上級士族のごく限られた人だけが着用を許されたといわれ、とくに本作のような黄色地の衣裳は中国において皇帝の色（禁色）とされたことに準じて最高位に置かれました。いっぽうサクラもショウブも日本で伝統的に好まれてきたモチーフです。もともと中国の冊封体制下にあった琉球王国は、17世紀より薩摩藩の属領として幕藩体制下にも組み込まれ、政治的にも文化的にも周辺国との複雑な交流を続けてきました。そうした中で、高度な技術に裏打ちされた独特の染織・工芸文化が育まれたのでした。

本作が実際に着用された様子を想像してみましょう。上半身の動きに合わせて桜花は賑やかにゆらぎ、下半身の動きに応じて水流はさらに勢いを増してショウブの花と葉を優雅に揺らすことでしょう。

※本作はコレクション展「桜花爛漫」（古美術展示室、4月20日まで開催）で展示中です。

――学芸課長　後藤恒

琉球・第二尚氏時代 19 世紀
型染め・木綿製
丈 122.0　裄 58.0　袖丈 71.0 cm

サウナの次は、博物館で整う!?

なぜいま「博物館浴®」※1が注目されるのか

博物館に行くことは、健康にいい?この不思議な関係を研究している九州産業大学の緒方泉先生に、博物館の持つ可能性についてお話をうかがいました。日頃から当館に足を運んでくださっているみなさまには、気になるトピックかもしれません。

※1 博物館法に基づき、歴史系・美術系・科学系などの施設を「博物館」と定義します。

お話を聞いた人

九州産業大学 地域共創学部
特任教授
緒方泉さん



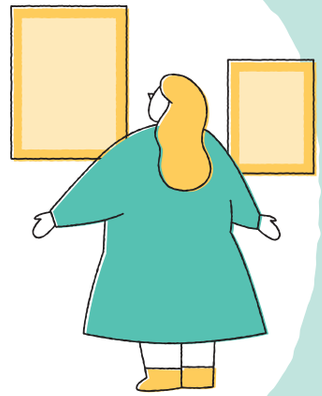
専門は博物館学。海外博物館調査を経験し、「博物館と健康、メンタルヘルス」に関心がある。

博物館浴ってなに?

「博物館浴」という言葉を聞いたことがありますか?これは森林浴や海水浴のように、「博物館での作品鑑賞やその空間に身を置くことで、心身のリラクゼーションや精神的な充実感を得ることができる」という考え方です。博物館とは、知的刺激を受け、学ぶ場所です。私はそれに加え、人々の健康増進や疾病予防に役立つ、癒しの効果があるのではないかと考え、「博物館浴」という概念を提案して研究・活動しています。

日本には約5,700館の歴史系・美術系・科学系などの博物館があります。しかし国民一人が1年間で訪問する回数は、平均1.2回※2。たくさんの施設が積極的に活用されているとは言えません。高齢化社会真っ只中の日本で、人々がもっと健康的に人生を送るために、博物館にできることがあるのではないかというのが、私の研究の出発点です。

※2 文部科学省「社会教育調査」



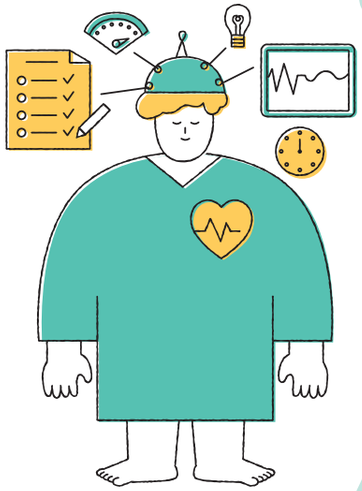
博物館の持つ多様な面が注目され始めている



実は日本より一足先に、海外では博物館とウェルビーイングの関係が注目されてきました。イギリスの博物館協会のウェブサイトは、トップに「Museums Change Lives(博物館は人生を変える)」というメッセージを掲げ、ミュージアムが私たちの幸福感を高めると明記しています。またカナダのモントリオールでは、医者が処方箋で博物館の訪問を勧めるというプログラムも始まっています。

これらはいずれも、博物館に行くことがストレスホルモンの減少を促すことや、文化芸術にふれる人の死亡率が低いなどの実証実験の結果を受けて行われています。

博物館で人々はリラックスする傾向にある



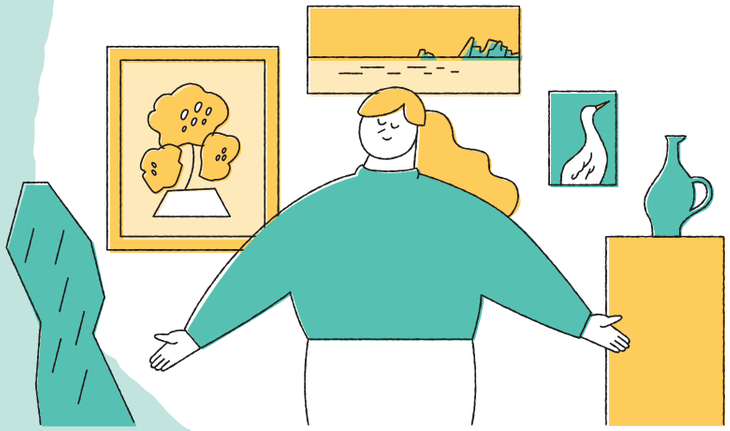
私も海外の研究にならって、全国の博物館で実証実験を行ってきました。中高生、大学生、働く人、高齢者、子育て中の女性など、様々な人に協力していただき、作品鑑賞の前後で、生理測定(血圧や脈拍)や心理測定(感情評価)を行い、体と心がどのように変化するかを調べています。これまでに日本中の博物館のべ88館の協力のもと、1,200名以上のデータを収集してきました。福岡市美術館にも協力してもらったのですよ!

この実験を通して、全体的に「交感神経と副交感神経のバランスが良くなる」「疲労感や緊張感が減少する」ことに影響があることがわかってきました。これは博物館を訪問することで、多くの人がリラックスし気分が良くなっていることを示しています。

さらにおもしろいのが、一人で黙って鑑賞する「黙々鑑賞」よりも、「おしゃべり鑑賞」の方が良い数値が出ていること。また10分から15分鑑賞するだけでも、効果があることもわかってきました。全館を鑑賞する時間・体力がなくても、「今日は古美術だけ見ようかな」というのもありってことですね。

今後も、現代アートや考古作品など鑑賞の対象によって結果が変わるのか、「さわる博物館浴」や「歩く博物館浴」でどんな変化が生まれるのかなど、多彩な検証を行っていくつもりです。

博物館浴で、どんな未来がやってくる?



私は「博物館に行く」ことに、様々な可能性があると感じています。外に出て歩くこと、作品について友だちと話し合うこと、視覚や聴覚から刺激を受けることなどは、実は私たちの体と心に影響を与えています。

現代の社会では、多くの人がなにかしらのストレスを抱えて生活しています。身近にある博物館がウェルビーイングにも役立つ「博物館健康ステーション」として私たちに豊かさを与えてくれる存在となればいいなと思います。温泉に行くくらいの気軽さで、「なんだか最近ちょっと疲れてるから、博物館に行こうかな」なんて未来もいいと思いませんか?

他の人と差をつけろ!部門

アクリルスタンド　各1,000円（税込）

ユニークなアクスタで、机をデコレーション

推しのアイドルのアクスタ（アクリルスタンド）をお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、ぜひ当館の推しもご覧ください。ゆるかわ禅画でおなじみの仙厓さんの作品からは《虎図》、《指月布袋図》、《円相図》がアクスタになりました。少し前に「スナイパー観音」としてSNSでも話題になった狩野昌運《異代同戯図巻》に登場する観音さまにもご注目ください。


仙厓義梵《虎図》


仙厓義梵《指月布袋図》


狩野昌運《異代同戯図巻》


仙厓義梵《円相図》

守られたい!部門

デコレーションテープ
550円（税込）（十二神将立像）

当館1Fの東光院仏教美術室で、中央に鎮座される薬師如来の周りに立つ十二神将立像（※）が、なんとマスキングテープになりました。十二支を頭に乗せた十二神将は、薬師如来を信じる人々を守護する役割があります。日常的に使うものをデコレーションすれば、毎日安らかに暮らせるかも!?会話の糸口にもなりそうです。

※展示替えにより作品が異なる場合もございます。



コラム　みんな大好き!こぶうしくん

2019年の当館リニューアル以来、マスコット的人気を誇る「こぶうしくん」。もともとは4000年前のインダス文明の遺跡から出土した当館所蔵の土偶をモチーフにしており、いまではステッカーからぬいぐるみまでグッズができて、みなさんに親しまれています。そんなこぶうしくんファンにぜひフォローしてほしいのが、福岡市美術館ミュージアムショップの公式SNSです。日々「今日のこぶうしくん」が更新されていて、おでかけしているこぶうしくんや、コスプレしているこぶうしくんが見られます。

@fukuoka_artshop　@fukubi.ms


こぶうしくん
ボールチェーン
マスコット
1,300円（税込）

SNSで投稿されている「今日のこぶうしくん」の一部をご紹介。





素敵を探しに、ミュージアムショップへ!



近年ユニークなミュージアムグッズが注目を集めています。
当館のミュージアムショップにも個性豊かなオリジナルグッズがあることをご存知でしょうか。
ここではその一部をセレクトしてご紹介。来館の記念におひとついかが?

じわじわ
かわいい部門

畦地梅太郎（あぜち）トートバッグ

各2,500円（税込）

ミュージアムショップ店長の井上大輔さんは、グッズのアイデアを探してコレクション展を鑑賞中に、ユーモラスな畦地梅太郎の作品と出会い、「これはグッズになりそうだ!」とひらめいたそう。畦地は山を題材に制作した版画家。ここでは味のある表情の山男とキュートな動物を描いた作品をセレクトしています。トートバッグはA4まで入って人気急上昇中です。





山をこよなく愛する男を、あなたの相棒に

袋をかぶる＝福をかぶる

縁起が最高部門

福かぶり猫

4,300円（税込）（フジタの猫）
各11,000円（税込）（色絵吉野山図茶壺、桂ゆき）

博多人形師の小副川太郎さんが、当館の所蔵作品をモチーフに制作している福かぶり猫。これまで一番人気「フジタの猫」に続き、新しい柄が仲間入り!《色絵吉野山図茶壺》の景色を身にまとった雅な猫は、海外からのお客様に好評です。桂ゆき《作品》をモチーフにした猫は、アバンギャルドでポップな仕上がり。あなたの家にはどの猫が似合いそうですか?


フジタの猫


色絵吉野山図茶壺


桂ゆき

あなたが巨匠部門

Master Road 極めよ、彩色の道

各2,200円（税込）

博多人形工房・中村人形が制作監修している、素焼きの博多人形。本物さながらに絵付けをするか、はたまた想像力を働かせるか。どんなふうに絵付けをするかは、それぞれのセンスに任されています。うさぎは、美術館の外に設置されているバリー・フラナガン《三日月と鐘の上を跳ぶ野うさぎ》、鬼は《地獄草紙断簡・勘当の鬼》からインスピレーションを受けています。

どう色をつけるかは、あなた次第



新規ボランティア研修レポート

全体研修　2024年10月～12月



福岡市美術館では教育普及活動の柱の1つとして、ボランティア活動を行っています。現在は約143人（2025年3月現在）が活動中です。当館のボランティア活動の歴史は、1979年の開館以前、準備室時代に遡ります。2024年で開館から45年が経ちましたが、ボランティア活動の歴史を振り返ると、それは美術館の歴史を振り返ることにもなるような、美術館の大切な活動になっています。

当館では、昨夏、5年に1度の新規ボランティア募集を実施。たくさんのご応募をいただき、面接を経て、約100名が10月から12月にかけて全10回の全体研修を受講しました。研修は、福岡市美術館の歴史やリニューアルから始まり、当館の近現代美術、古美術のコレクション作品について、さらに作品保全や教育普及に関する内容を、10回の講義で学びました。専門的な内容でしたが、みなさん熱心に耳を傾けていました。

また、最後の研修は、髙栁香代（たかやなぎ）氏を講師に迎え「やさしい日本語」の研修を行いました。日本語が母語ではない方に対して、わかりやすく伝えるための「やさしい日本語」。当館でも、多様な利用者に向けて「やさしい日本語」でツアーをしたり、所蔵品のガイドブックを制作したり、数年前から取り組みを始めています。ボランティアの皆さんは、美術を愛する利用者でもありながら、美術館の中の人でもある稀有な存在です。研修で、初めて「やさしい日本語」を知った方も多かったのですが、館内で来館者と接する機会も多い皆さんが、実践的に日々の活動で活かすことができる、充実した研修内容でした。

―学芸員（教育普及係）﨑田明香



ギャラリーガイドボランティアが所蔵品を紹介するツアーもあります！

福岡ミュージアムウィーク2025

5月17日（土）～24日（日）

5月26日（月）は休館日です。

※イベントの内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

期間中は コレクション展示室を無料 でご覧いただけます。ギャラリーガイドボランティアのツアーも毎日11時と14時に行いますので、ぜひご参加ください。参加無料、予約不要です。詳細は当館ホームページなどでご確認ください。

グループ研修　2025年1月～3月

当館のボランティア活動は4つのグループ（ギャラリーガイド、新聞情報、図書整理※、美術家情報整理）に分かれています。2025年1月から3月は各ボランティアグループに分かれて研修を実施しました。

※2024年度の新規募集は行いませんでした。



ギャラリーガイドボランティア

ギャラリーガイドボランティアは毎日、11時と14時に展示中の所蔵品を紹介するツアーを行っています。また、学校団体を対象にした「スクールツアー」も中心となる活動の1つです。いずれのツアーも複数の参加者が一緒に作品を見る「対話型鑑賞」という方法で実施しています。

研修では始めに「みる」をテーマに、意識して見る練習をし、「鑑賞」と「みる」の違いを考えました。その後、対話型鑑賞の実践的な練習と、本番同様に1人ずつツアーのリハーサルを実施。皆さん緊張しながらも、ついに4月からツアーデビューです。



新聞情報ボランティア



新聞情報ボランティアの活動は、新聞各紙の美術関連記事をスクラップするという、とてもアナログな作業です。当館には、新聞ボランティアが切り抜いた新聞記事が全て現物保管されています。グループ研修では、記事の取捨選択方法について実際の事例をもとに、学芸課の担当者とともに考えました。

最近は、新聞記事のデジタル化、アーカイブ化が進み、パソコンでキーワードを入れれば簡単に記事を検索できるようになりました。こんな時代だからこそ、人が選んだ記事が蓄積されていくことが大切なのだ、ということを皆で共有しました。

美術家情報整理ボランティア

美術館には、ギャラリーやアーティストから個展やグループ展などの情報がハガキ等（DM）で届きます。それらは、特に現代美術を取り巻く状況やアーティストの活動を体系的にアーカイブするための大切な情報となります。当館でも現物を保存しながら、同時にデータベースとしての記録も蓄積しています。

現在は、DMのデータ保存への移行を検討しながらも、現物を保存する意味についても議論をしているところです。研修では、先輩ボランティアと一緒に、DMの分類方法やデータベースの入力方法などを確認しました。



美術館スケジュール ●休館日

4月 1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水

5月 1 木 2 金 3 土 4 日 5 月 6 火 7 水 8 木 9 金 10 土 11 日 12 月 13 火 14 水 15 木 16 金 17 土 18 日 19 月 20 火 21 水 22 木 23 金 24 土 25 日 26 月 27 火 28 水 29 木 30 金 31 土

6月 1 日 2 月 3 火 4 水 5 木 6 金 7 土 8 日 9 月 10 火 11 水 12 木 13 金 14 土 15 日 16 月 17 火 18 水 19 木 20 金 21 土 22 日 23 月 24 火 25 水 26 木 27 金 28 土 29 日 30 月

特別展（2階）

4月19日（土）−6月8日（日）
・テレンス・コンラン　モダン・ブリテンをデザインする
お問い合せ：西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491（平日9:30〜17:30）

6月24日（火）−8月31日（日）
・Hello Kitty展ーわたしが変わるとキティも変わるー
お問い合せ：西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491（平日9:30〜17:30）

コレクション展 近現代美術（2階）

−6月1日（日）
・コレクションハイライト（近現代美術室A）

6月12日（木）−
・コレクションハイライト（近現代美術室A）

3月25日（火）−6月1日（日）
・新収蔵品展（近現代美術室A）

6月12日（木）−8月31日（日）
・懐かしの風景〜ニッポンの夏〜（近現代美術室A）

3月28日（金）−6月1日（日）
・第3回福岡アートアワード受賞作品展（近現代美術室B）

6月12日（木）−8月31日（日）
・飛躍のためのドローイング（近現代美術室B）

−6月1日（日）
・コレクションハイライト（近現代美術室C）

6月12日（木）−
・コレクションハイライト（近現代美術室C）

コレクション展 古美術（1階）

3月19日（水）−4月20日（日）
・華やぐ家具調度（古美術企画展示室）

4月23日（水）−6月22日（日）
・九州の古陶に魅せられた　田中丸善八の眼（古美術企画展示室）

6月25日（水）−8月24日（日）
・夏休みこども美術館2025
みる見る 聞こえる 音楽会

3月19日（水）−4月20日（日）
・桜花爛漫（古美術企画展示室）

3月25日（火）−6月1日（日）
・春の名品展（松永記念館室）

6月3日（火）−8月17日（日）
・松永耳庵　夏の茶事（松永記念館室）

通期 ・東光院のみほとけ（東光院仏教美術室）

LECTURE

つきなみ講座

APRIL-JUNE 2025



毎月1回、当館学芸員が、自分の仕事、展示、研究、関心ごとについて語ります。

※聴講無料、申し込み不要 ※先着順（30分前開場） ※定員等は変更になることがあります。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

4月 古美術作品の修理について

日時：4月19日（土）15:00〜16:00
会場：レクチャールーム（定員54人）
講師：宮田太樹（学芸員・古美術係）

古美術作品の多くは伝来の過程で何度かの修理を経て今日に至っています。当館の近年の事例を中心に古美術作品の修理についてお話しします。



重要文化財《泰西風俗図屏風》桃山〜江戸時代　17世紀

5月 九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼

国内屈指の九州古陶磁コレクションを築いたことで知られる田中丸善八翁。本講座では、九州古陶磁に興味を持つきっかけや実際に〝うつわ〟として用いる様子を紹介し、翁のコレクターとしての姿に迫ります。

日時：5月18日（日）15:00〜16:00
会場：ミュージアムホール（定員180名）
講師：久保山炎
（一般財団法人 田中丸コレクション 学芸員）

※5月は日曜日の開催となりますので、ご注意ください。



田中丸善八翁（1894-1973）

6月 美術館とバリアフリー

バリアフリーとは、社会に暮らす多様な人が生活し、活動するなかで不便に感じるバリア（障へき）をなくしていくことを意味します。福岡市美術館の取り組みについて紹介しながらバリアフリーについて考えます。

日時：6月21日（土）15:00〜16:00
会場：レクチャールーム（定員54人）
講師：髙田瑠美（学芸課教育普及係長）



バリアフリーギャラリーツアーでの鑑賞のようす
（作品／山内重太郎《原型》1960年）

※展覧会およびイベントに変更が生じる場合があります。来館前にホームページで最新情報をご確認ください。

ギャラリー A-F 2階

4月1日（火）〜4月6日（日）
・Artな日々展（ギャラリーA）
・甍と社とその周辺（博多・中州界隈編）（黒川 実 写真展）（ギャラリーB）
・田畑伸悟 写真展「Peak XV」（ギャラリーC）
・第二回フォト蔵写真展（ギャラリーD）
・子どもデジタル・デザインコンテスト入賞作品展（ギャラリーE）
・第24回日本水彩久留米福岡支部展（ギャラリーF）

4月8日（火）〜4月13日（日）
・第30回福岡市書道協会展（ギャラリーA,B,C,D,F）
・アトリエ霽月仏画展（ギャラリーE）

4月15日（火）〜4月20日（日）
・ダネラ 北欧生まれの手創りじゅうたん（ギャラリーA）
・遊美塾福岡 写真展（ギャラリーB,C,D）
・長丘写真クラブ作品展（ギャラリーE）
・中村洋一 葦ペン画展 115回ピースボート寄港地の風景（ギャラリーF）

4月22日（火）〜4月27日（日）
・第37回蘭亭書道展（ギャラリーA,B,C,D,E）
・第65回西日本フォトコンテスト 入賞作品展（ギャラリーF）

4月29日（火）〜5月6日（火・祝）
・第6回MOPあーと展（ギャラリーA）
・黒の密度―斎藤モトイ写真展―（ギャラリーB）
・博多を描く会10周年記念展創立35周年（ギャラリーC,D）
・フォトクラブ四季彩写真展（ギャラリーE）
・六人展（ギャラリーF）

5月8日（木）〜5月11日（日）
・九州産業大学 芸術学部・大学院芸術研究科 作品展「九芸展2025」（ギャラリーA,B,C,D）
・第56回母の日記念 アトリエ筑紫会 お母さんの似顔絵コンテスト（ギャラリーE）
・修復する男と、絵の女。（ギャラリーF）

5月13日（火）〜5月18日（日）
・第26回木曜会作品展（ギャラリーA）
・馨心會展（ギャラリーB）
・ホタルに逢いに行こう―ホタルがつなぐ日本の原風景 石井幹夫ホタル写真展（ギャラリーC）
・大島睦 葦ペンで描く九州のまちなみ（ギャラリーD）
・のとり絵画塾展（ギャラリーE）
・第41回九友会絵画展（ギャラリーF）

5月20日（火）〜5月25日（日）
・第78回示現会展（ギャラリーA,B,C,D,E,F）

5月27日（火）〜6月1日（日）
・第53回 日本の書展 九州展（ギャラリーA,B,C,D,E,F）

6月3日（火）〜6月8日（日）
・第120回太平洋展 第59回太平洋西日本展（ギャラリーA,B,C,D,E,F）

6月9日（月）〜6月15日（日）
・大濠・舞鶴公園とその周辺の花・鳥・風景写真展（ギャラリーA）
・第6回九州けやき会展（ギャラリーB,C,D）
・あなたはどっち派? タイとシンガポールの力作写真（ギャラリーE）
・NRRキルト展（ギャラリーF）

6月17日（火）〜6月22日（日）
・七隈カルチャーセンター近藤えみ絵画教室（ギャラリーA）
・『カワイイ♡ヤツら』PART 1&2 特別バージョン カワイさ余って可笑しさ×100展（ギャラリーB）
・第9回フォトクラブniccori写真展（ギャラリーC）
・絵本と書 柚月牡丹個展（ギャラリーD）
・第44回火曜の仲間展（ギャラリーE）
・ARS写真クラブ作品展「雑記帳」〜それぞれの視線で〜（ギャラリーF）

6月24日（火）〜6月29日（日）
・第84回創元展 福岡巡回展（ギャラリーA,B,C,D,E,F）

福岡市美術館ミュージアムイベント協力企業・団体

GRANDE MAISON SEKISUI HOUSE
大王製紙株式会社
QTnet
福岡銀行
NIPPON EXPRESS
ウエスト
人につくす、街につくす。セイワ世研
AZUSA SEKKEI
九州電力 ずっと先まで、明るくしたい。
草苑

ふくおか応援寄付

福岡市美術館が魅力的であり続けるためには、今後とも機会あるごとに美術品を収集することが不可欠であり、そのための資金として皆さまから「ふくおか応援寄付」（ふるさと納税による寄付）を募集しています。

わたすclub

会員になると、展覧会や映画などの料金がオトクに!もっと身近にアートのワクワクを感じてみませんか。福岡市文化芸術振興財団のホームページ（http://www.ffac.or.jp/wa/）またはミュージアムショップ店頭で入会受付中。

RESTAURANT
レストラン プルヌス限定メニュー



「お花見籠膳」

焼き魚やローストビーフ、天麩羅の盛り合わせ等、色々なお料理を春の御膳でご準備いたしました。桜の風味のお塩や菜の花のお浸し等、春の味覚をお愉しみください。

販売期間
3月25日（火）～4月20日（日）
3,850円（税込）

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

福岡市美術館
ウェブサイト
www.fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6　TEL：092-714-6051（代表）　FAX：092-714-6071
【開館時間】 9:30～17:30（7月～10月の金・土曜日は9:30～20:00） ※入館は閉館の30分前まで。
【休館日】 月曜日、年末年始（12月28日～1月4日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日）

esplanade APRIL 2025 | NO.219

福岡市美術館　季刊誌エスプラナード219号　発行日：2025年4月1日

【制作】福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社（西日本新聞社）【編集】浅野佳子（nico edit）【デザイン】dictom design【印刷】株式会社西日本新聞プロダクツ
【発行】福岡市美術館（〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6 TEL:092-714-6051 FAX:092-714-6071 https://www.fukuoka-art-museum.jp）